

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	LikePot久留米南		
○保護者評価実施期間	R7年12月1日		～ R7年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	R7年12月1日		～ R7年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年1月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、作業療法士、児童発達支援士、強度行動障がい支援者養成研修受講者等資格所有者が多数在籍している。	積極的に資格の取得を目指している。	勉強会への参加や資格取得を目指せるように情報の提供や案内をスタッフに行い支援の質をあげていく。
2	異年齢との交流ができる。	同じ空間で活動することで、年齢に応じた役割を意識し他児と関わりを持つことができる。	生活年齢に応じて小集団の活動を主に行っているが、今後も意図的に集団の活動を取り入れていく。
3	スタッフ間の連携が取れている。	子ども達の情報はその日に共有している。 また当日休みのスタッフも把握できるように情報共有アプリを活用している。	時間が取れる時は、終礼・朝礼を取り入れていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	プレイルームは広いが部屋数が少ない。(カームダウン等)	パニックを起こした際に、移動してもらう部屋がすぐに準備できない場合がある。 パーテーションで1つの部屋を作り、提供しているが数名重なると難しい場面がある。	引き続きパーテーションで代用するか、少し重さのあるパーテーションで動かない個室(カームダウンの部屋)を作る等検討を進めていく。
2	利用する子ども達の状況によっては、スタッフの人数が足りないと感じる。	活動内容や子ども達の状況でマンツーマン対応が多い。	マンツーマン対応が多く必要な曜日には事前に多くのスタッフを配置する。もしくは事前に受け入れの調整を行う。
3			